

Unified Contact Center Enterprise (UCCE) / Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) 簡易 ネットワーク 管理 プロトコル (SNMP) トラップ レシーバ ツール

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

概要

この資料に SNMP 機能をテストするために SNMP 関連問題を解決するためにトラップレシーバ ツールによって UCCE/CVP アプリケーションによって生成される SNMP イベントを有効にし、観察し集める方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- UCCE および CVP の SNMP V2 の設定

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- UCCE バージョン 10.5(1)
- トラップレシーバ ツール

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

SNMP イベントを有効にし、表示し、集めるプロシージャ。

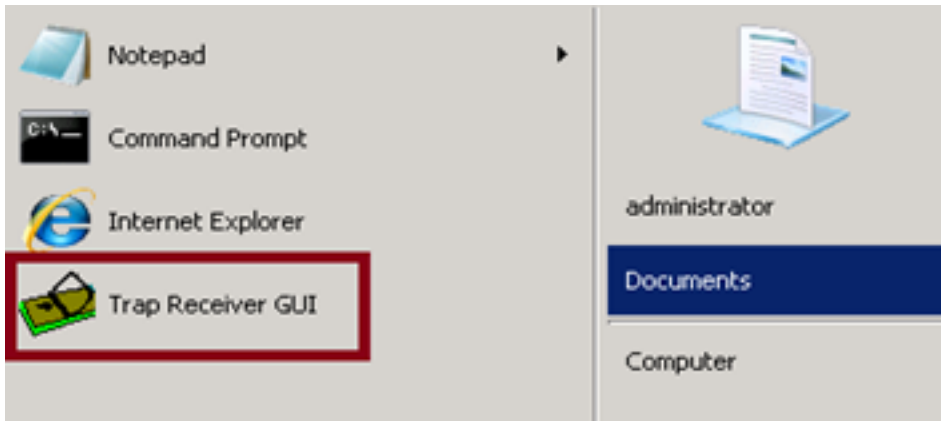
ステップ 1. UCCE/CVP アプリケーションサーバによって生成される SNMP メッセージを受け取

る宛先 サーバでトラップレシーバ ツールをインストールして下さい。

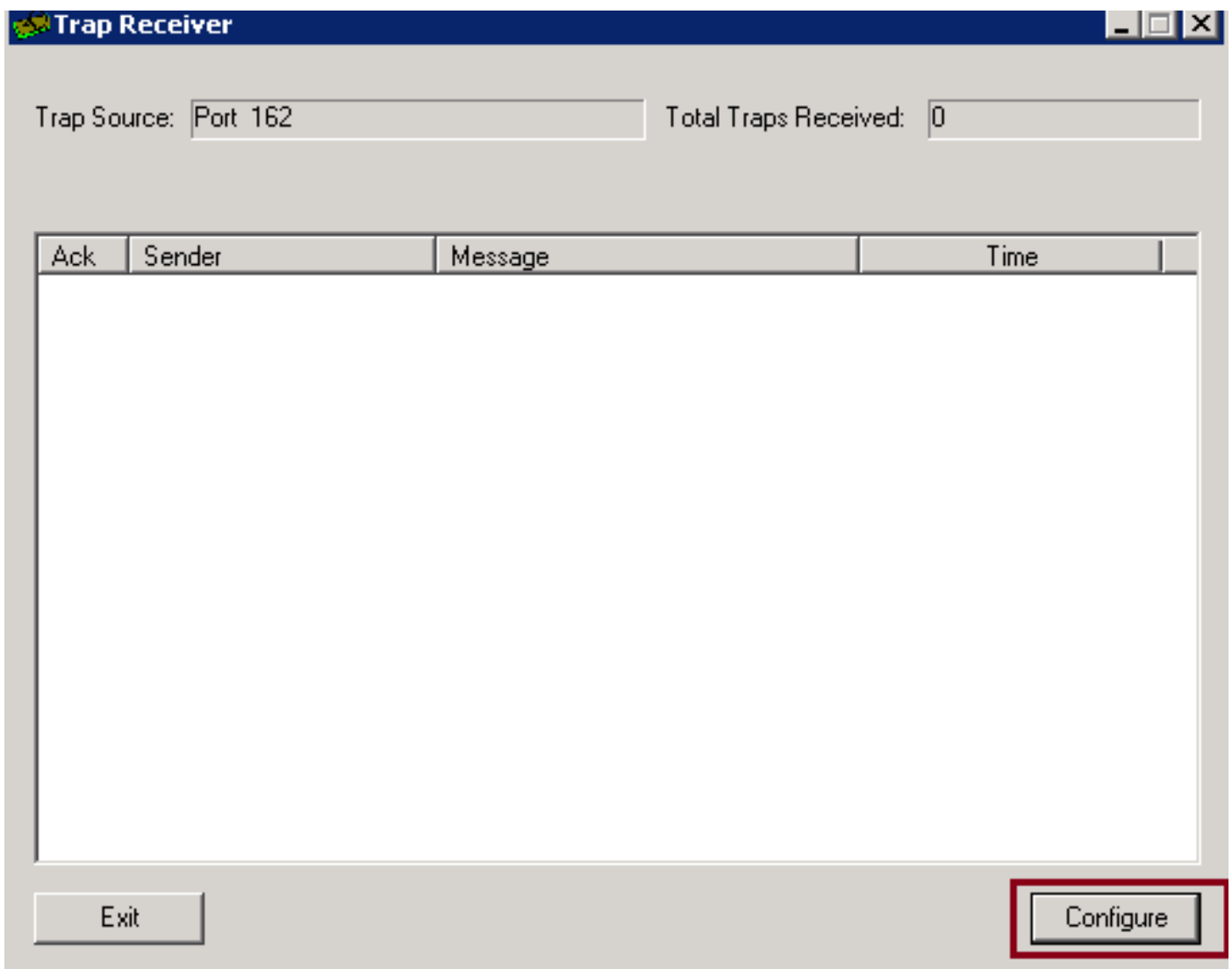
注: ツールはこの技術情報に、TrapReceiver.zip 接続されます

ステップ 2.下記のステップの実行によってツールで UCCE/CVP 管理情報ベース (MIB) をロードして下さい

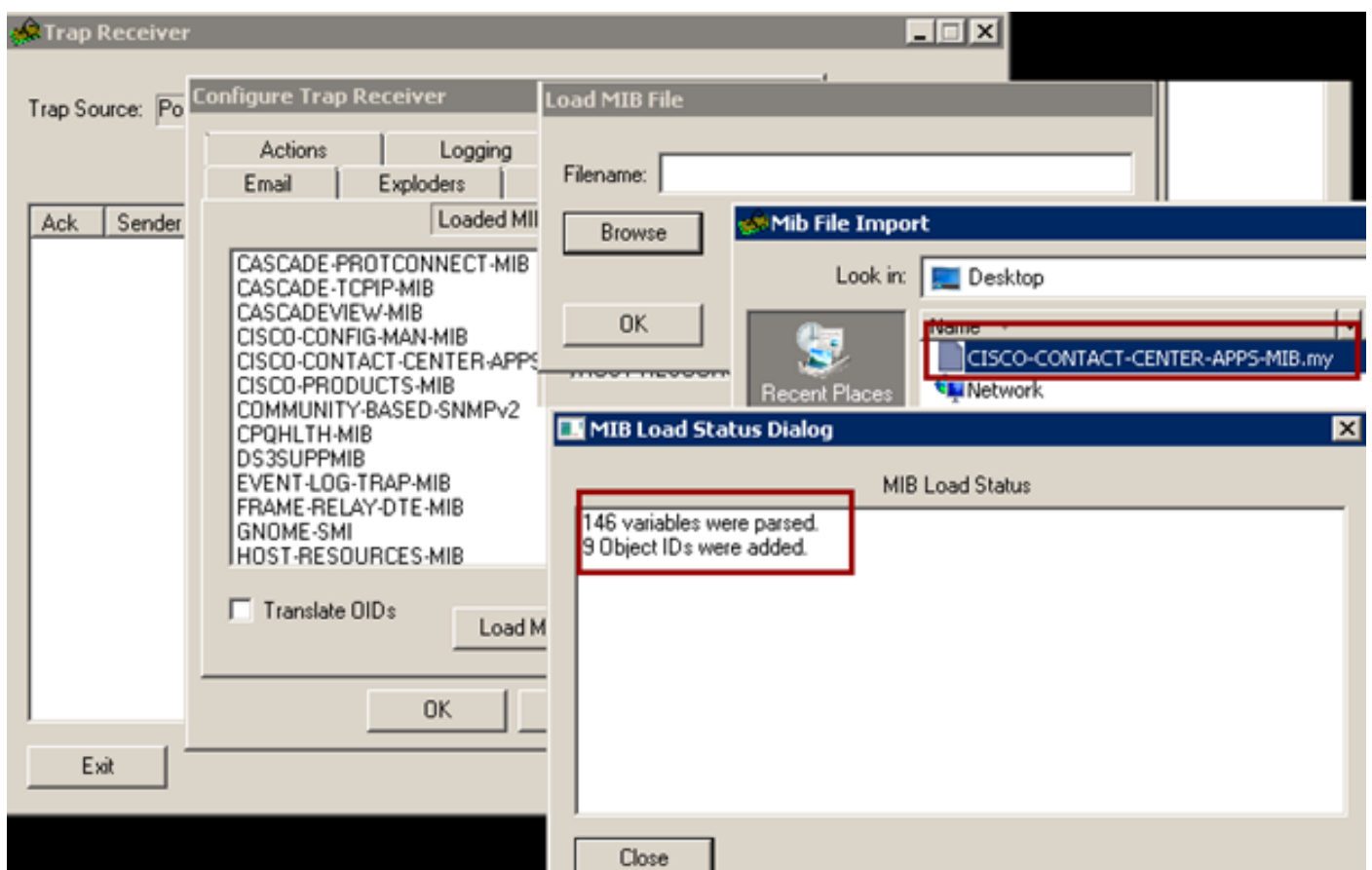
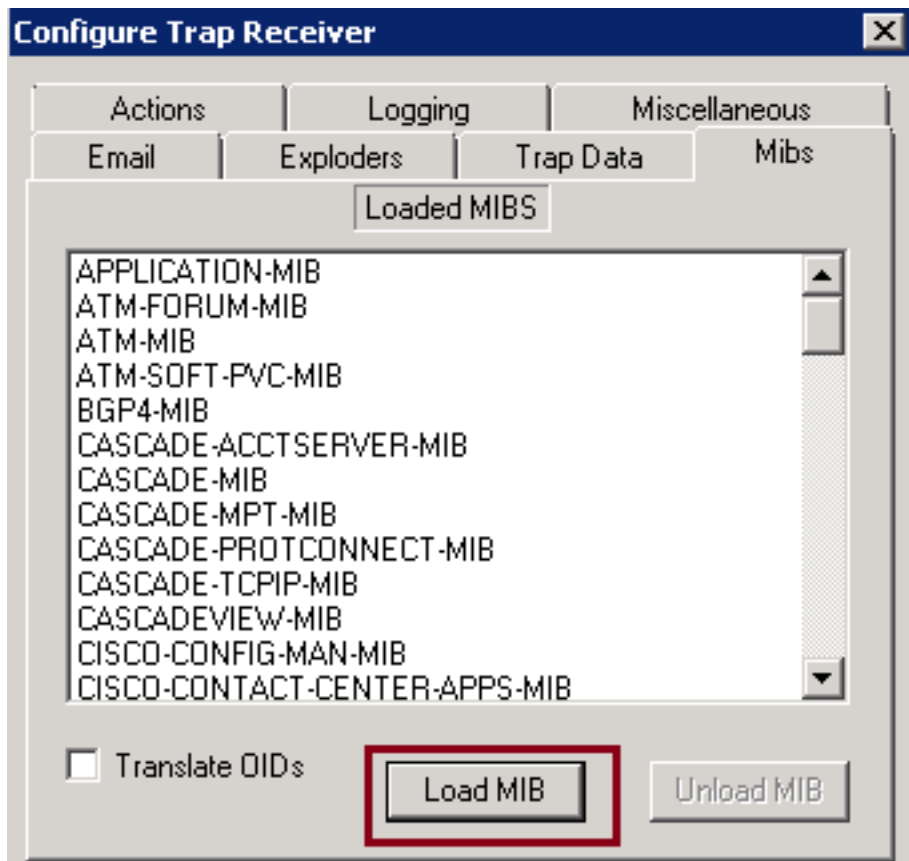
(i) トラップレシーバ GUI でツールを始動させて下さい。



(ii) ボタンを『Configure』 をクリックして下さい。



(iii) MIB タブでロード MIB オプションを選択し、UCCE および CVP MIB をインポートして下さい。

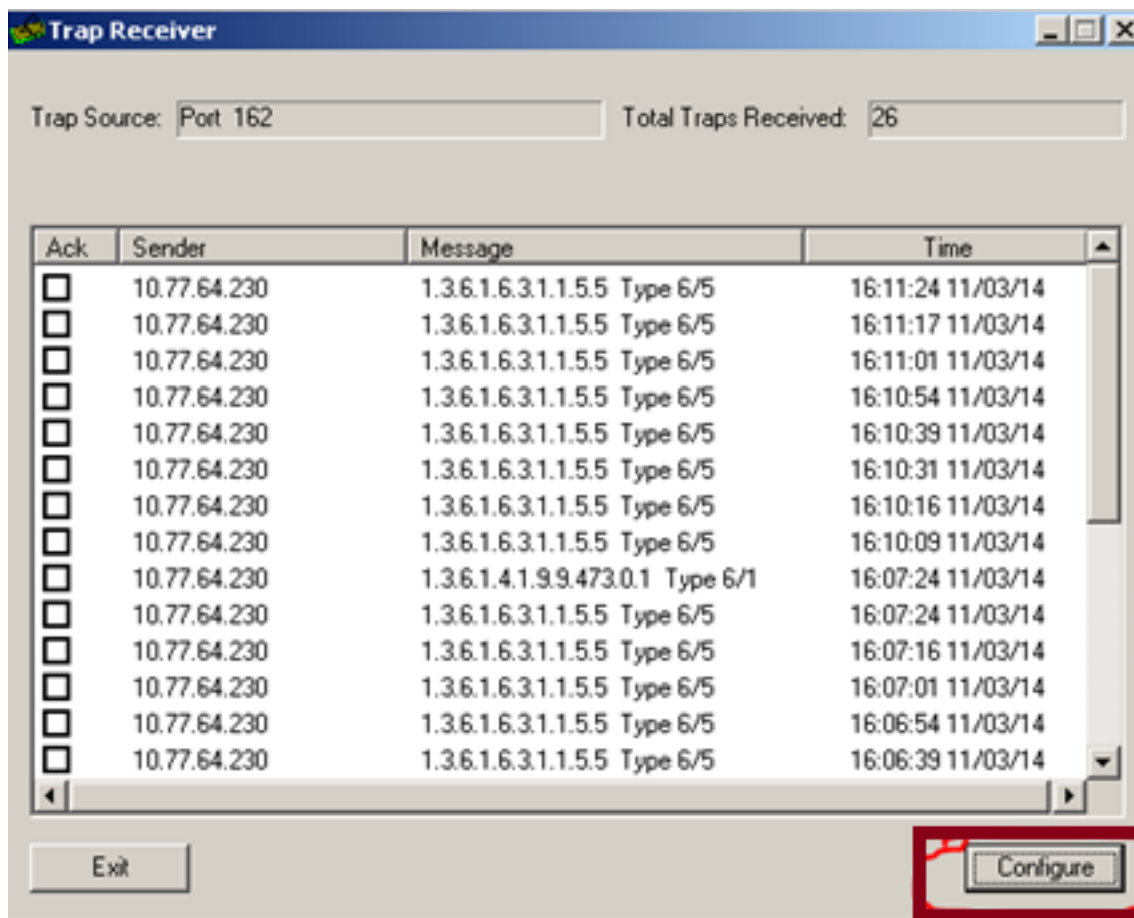


この段階ではツールはうまく UCCE/CVP サーバからの着信 SNMP イベントを受け入れるために

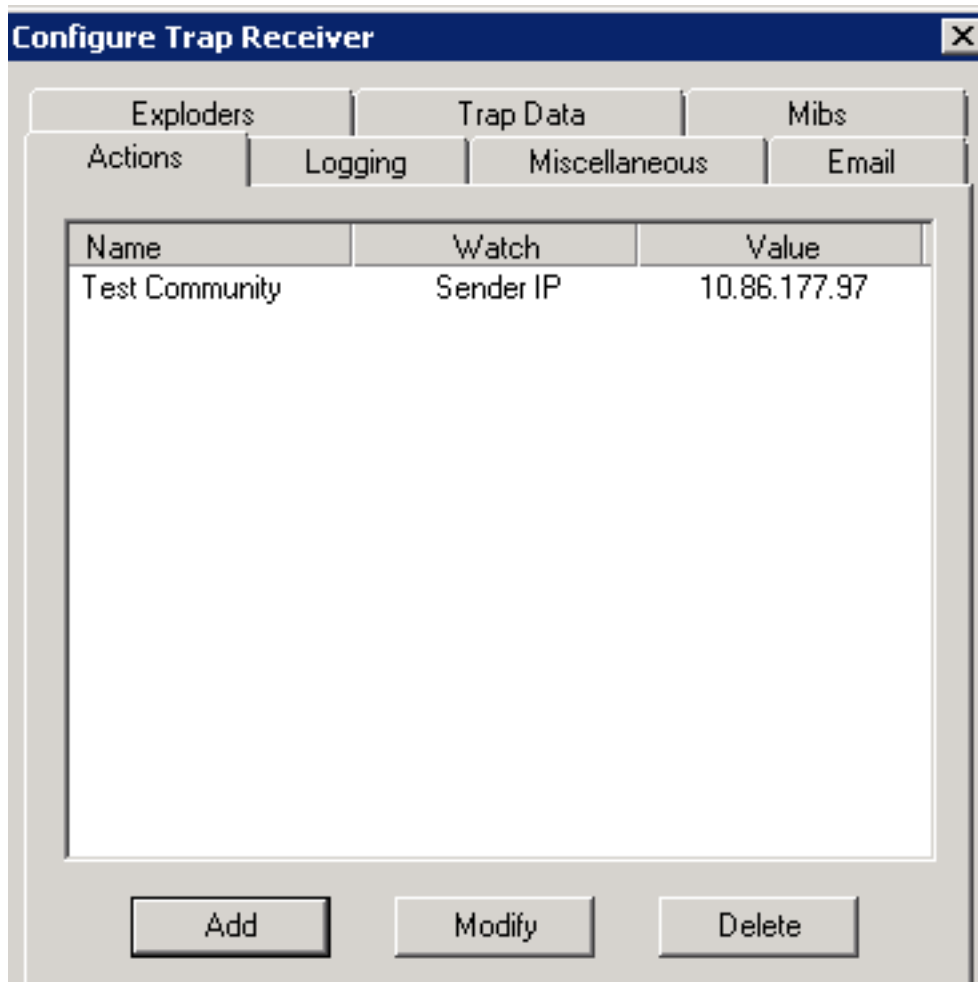
設定されます。

ステップ 3.仕様 CVP/UCCE サーバまたはコミュニティ スtring を選択し、ログの情報を収集するために下記に示されるステップに従うことができます。

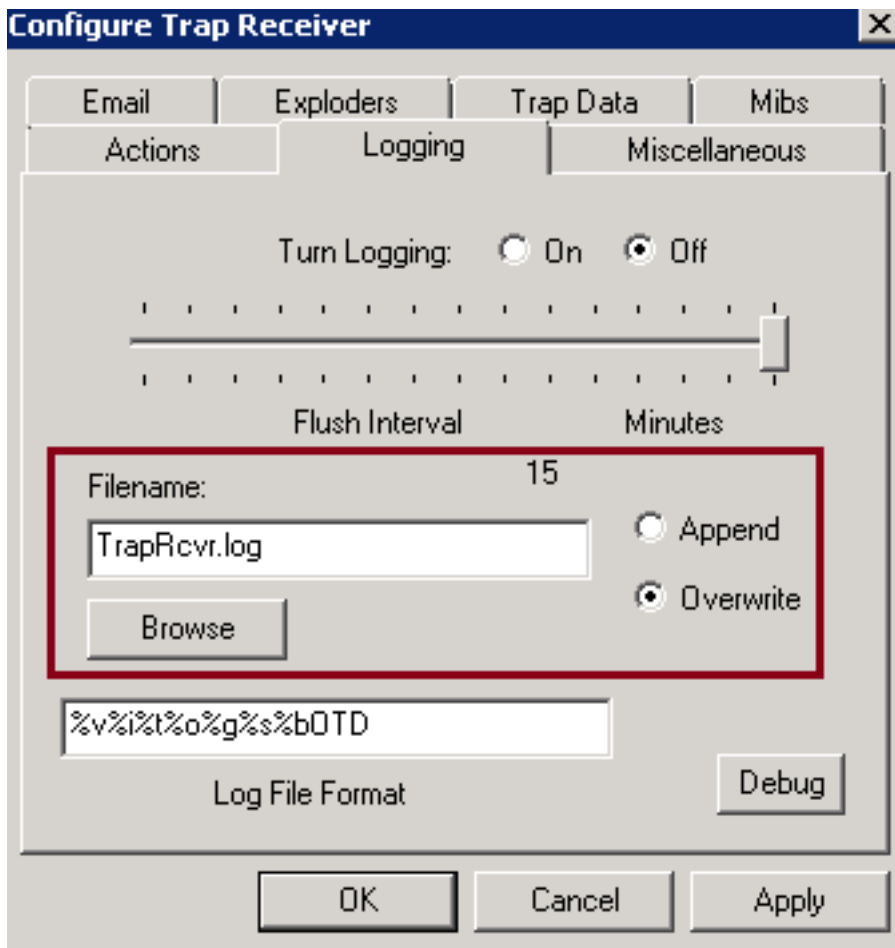
(i) トラップレシーバ GUI では **Configure** ボタンを選択して下さい。



(ii) 操作の下で必須詳細を記録して下さい、追加して下さい。



(iii) 操作とされて **Logging** タブを記録して下さい、ファイル名、パス、アペンドまたは上書きのようなログ情報を提供するために選択して下さい。



『Apply』 をクリックし、承諾して下さい。

(iv) セットアップトラップレシーバが下記に示されている情報と同じようなトラップを受け取り始める必要があった後。

